

助成事業実施報告書

団体名 NPO 高齢者の音楽を考える会

理事長 氏名 庵原 えい子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

シニアによるシニアのためのミュージカル「浦島太郎」の上演

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

平成15年高齢者施設で音楽療法をしていた者たちが集まりNPOを設立。現在会員36名。高齢者施設での音楽療法50回/月。他高齢者のための歌の会開催。ミュージカル上演、コンサートの開催、講演、著書「歌って元気心と体」「歌って元気あの歌子の歌」「武蔵野市ゆかりの音楽

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

- 1) 地域で自活している高齢者は「人の役に立ちたい」と考えている方が多い。その方たちが「上演」という明確な目的を持ち、練習に励み上演することで、生活が生き生きとしたものとなることを目的とした。
- 2) 遠くに居住されていて文化活動を楽しむににくい方たちに楽しんで頂くことを目的とした。
- 3) 趣味活動をしている人、地域の子供達にも声がけをして多世代間の活動、交流を目指し、孤立予防にもなる。
- 4) 浦島太郎というわかりやすい内容、なじみの歌で認知症の進んだ高齢者にも楽しんでもらう。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

シニアによるシニアのためのミュージカル「浦島太郎」の上演。
最後はハッピーエンドとなる物語にした。亀をいじめる場面で子供の参加を促す。効果音はレインスティックを会場の人に依頼して、参加意識を高めてもらう。途中で観客とともに楽しい歌を一緒に歌う。バイオリン、ダンスなどプロの演奏もたのしんでもらう。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生じた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- ・「浦島太郎」上演回数4回。観客200名出演者のべ50名。
- ・プロの音楽(バイオリン、フルート)プロのダンス(ブレイクダンス、フラメンコ、日舞)などを楽しんでもらうことで、文化的活動を享受しにくい方達の(東京より遠い、高齢で出かけられない)心のビタミンとなった。
- ・開催会場の地域の方々も出演者として参加し、また浦島太郎を知らない子供達も出演し、多世代交流やコミュニティの拡大の一助になった。
- ・効果音のレインスティック(波の音)、ウッドブロック(亀をたたく音)を会場の人に担当してもらったことにより、参加意識が高まり、大変楽しまれた。
- ・出演者は生きがいを持った活動ができ、次年度も出演参加をしたい人が増えた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

ミュージカルは楽器、大道具、衣装等の運搬、出演者以外の大勢の協力が必要で、費用が掛かる。老人ホームからのオファーが無かったのが残念です。昨年度「浦島太郎」を上演したところより再びの依頼があった。好評だったことが実感できる。また今年度上演したところよりは、再度の依頼があった。

7. 参考資料

写真 添付



竜宮城でのフラメンコダンサー



竜宮城でのフルート演奏



子供たちの参加
みんなで記念撮影



この後千葉では豪雨被害が出ました。
お見舞いのメールをしましたところ、電気が止まっているとのことでした。